

ほんにかえるプロジェクト会報 2016年1月創刊

かえるのうた

| 1

第25号 2022・4月

ほんにかえるプロジェクト発行

編集責任者：汪 楠



受刑者作品 会員番号 A126 WM

如月の 静かなる雪 武蔵野に
芽吹く紅梅 春遠からじ

PJ 代表 田中 伸彦

早いもので、いつの間にか二月に入りました。

まだまだ続くコロナ禍の中、皆さま如何お過ごしでしょうか。

武蔵野は少しばかりの雪が舞い散る冬景色。

立春は過ぎましたが、「春は名のための風の寒さや」と言ったところです。

それでも雪の中で見上げた木立の枝先に、小さな木の芽が膨らみかけています。

植物の自然を感じ取る力には、しばしば感心させられ、その生命力には畏れさえ覚えます。

この地球上に動物が生まれ出る遥か以前から、苔やシダ植物は現れ、土壌の栄養分を作り

それを海へ戻し、光合成により二酸化炭素を蓄積し、生物に必要な酸素を放出するという

生命の循環の仕組みを担い続けています。

あらゆる植物は大地に逞しく根を下し、地下の水分を黙々と吸い上げ、高く高くその枝をのばし、青々とした葉を付け、様々な果実を育て、花粉や種や胞子

は、風や鳥や昆虫、動物の糞などによって、その命は何処までも運ばれ、そして生き続ける。

樹々たちはいつまでもその場所に根を張り、立ったまま黙って眠っているのでしょうか？

私の思いでは、地上の植物たちはそれぞれ、地球を取り巻く大気や、太陽の動き、月の満ち欠け、動物たちの呼吸を繊細に感じ取りながら、この地球と言う生命体を致命的な危機から必死で護っているような気がしてなりません。

昨今のコロナウイルスの蔓延に植物たちは、どんな反応をしているのか、知る由もありませんが、草花や樹々、森や山、苔やシダ類が生々と育ち繁殖し続ける限り、私たち人間を含めた生き物の先行きにも、僅かばかりの希望があるのではと思っています。

春つげる花とまどいの薄き紅

ロゴセラピーと 無期囚の生きる意味

PJ スタッフ 大塩 志野

(前号からの続き)

3. ロゴセラピーと無期囚の生きる意味

『夜と霧』の著者であり、ロゴセラピーの創立者でもあるヴィクトール・E・フランクルは1905年ウィーンに生まれ、ウィーン大学在学中よりアドラー、フロイトに師事し、精神医学を学びました。第二次世界大戦中、ナチスにより強制収容所に送られた体験を戦後まもなく『夜と霧』に記しました。1955年からウィーン大学教授となり、人間が存在することへの意味への意思を重視し、実存分析やロゴセラピーと称される独自の理論を展開し、1997年に亡くなりました。

わたしは2014年に『夜と霧』を読みました。学生のころから著名人が薦める図書の一つとして認識してはいましたが、読むにはまだ早いという漠然とした思いから、いつしか40代になっていました。友人がある勉強会で杉原千畝を取り上げたこと、作家の小川洋子のアンネフランクを旅する著書を

読んだことなどがきっかけとなり、今なら読めるかもしれないとちょっと勇気をもって新版池田香代子訳を購入し、読みました。

最も心に残ったのは、どんなに苛酷で卑劣で残虐な状況においても、人間の精神的な自由を奪うことはできない、置かれた状況でどのようにふるまうかという人間の根本の自由は誰も犯すことができないということです。

ナチスの総統ヒトラーを護衛する党内組織である親衛隊の中にも、被収容者であるユダヤ人にこっそりパンをくれたり、労働を見逃してくれたり、ポケットマネーで薬を買ってくれる者もいました。一方、同じユダヤ人でも残酷な暴力行為を繰り返し、被収容者を苦しめる者もいました。被収容者はありとあらゆる感情を奪われ、未来に希望が持てないとして無気力、自暴自棄になる人が大半でしたが、その中であっても人に対して励ましの言葉をかけたがり、ガス室に入っても毅然として祈りの言葉を口にしたりする者もいたのです。

『夜と霧』を支援者から送られ、刑務所内でこれを初めて手にした汪さんは、「罪を犯して刑務所に入れられた私

と、何の罪もなかったユダヤ人を比べるのは冒涇」と考え、その本を送り返してしまいます。支援者は「この本は人生における生きる意味を見つけるのに助けになるかもしれない」という手紙を添えて再度送り、汪さんに勧めたのです。そこでようやく汪さんは腰を据えてフランクルの本を読み始めたといえます。

刑務所内で、また出所してからもロゴセラピーを学んでいった汪さんはロゴゼミナールでの発表の中で、次のように述べています。

一 ナチドイツのユダヤ人と、今日の日本社会における中国人と単純に比べることはできない。しかし多くの共通点を持つのも事実ではないかと思えます。いつかのゼミのテーマでもある「危機」に関して言えば、私自身、親の都合で日本に連れてこられ、人生で初めてのいじめと差別に遭遇し、それに抵抗する手段として暴力を選び、その果てに犯罪人になって刑務所生活を送ることになりました。いま、暴力を否定する立場にはありますが、ではいじめと差別に対抗するには暴力以外の選択肢があったのかを考えるのが今の私のライフワークといえます。そこにはロゴセ

ラピーがとても助けになりました。

一口ロゴセラピーには白い石と黒い石という例えがあります。いじめも差別も実際に起きた出来事で、それを黒い石とみなし拾わないように、あるいは見ないようにすることはよくないと思います。それは思い込みでない以上、厳然と存在する事実をどう受け入れるかが問題です。ここでは克服とは対症的療法的な、そして被害者としての観点しか持たないものではなく、人間は究極的には責任ある存在であることを理解し、被害者としてだけでなく、加害者にもなりうる、自覚しないうちに加害している自分がいることを知る。そのうえでどう責任を果たすかが人生の意味だと思います。役割に気づくという非常にわかりやすい言葉をロゴゼミにて学びました。（「ロゴゼミにおける特別レポート」より）

汪さんは汪さんの体験からロゴセラピーを自分の言葉で理解していったのです。

一方、2章でも短く触れましたが、わたしは『夜と霧』を読んだ直後に職場の尊敬する先輩を自死で失いました。彼は主任に昇進してしばらくしたあたりから心の不調に見舞われ、5年くら

い通院をしたのちに、一時は入院をして1年間休職をし、そこからの復帰プログラムが始まる時にわたしは出会いました。社交的で人懐こい性格でサービス精神旺盛な彼がうつ病患者であるとは最初は信じられませんでした、だんだんと好調な時と不調な時の波を理解するにしたがってこれは本当に大変な病気であると思わざるを得ませんでした。主任からの降格や、プログラムの最初はいろいろ制約があって知的障害の利用者さんとも直接的に関われないもどかしさは彼が一番悔しかったことと思います。

復帰プログラムから2年半が経過し、職員としてようやく安定して勤務ができるようになったと周りが思い始めた時、突然に彼は自ら命を絶ってしまったのでした。

あまりにも突然の出来事に職場のだけれど言葉が失いました。かろうじてお葬式には参列したものの、会社としてはあまり表ざたにはしたくない雰囲気はありありとしていましたし、なんといっても知的障害のある利用者さんになんと説明していいのか、職員は本当に苦しみました。職員は利用者さんの前で泣いているわけにはいかないの

で、必死で笑って利用者さんと向き合い、日々をこなしました。わたしもそのあとの3、4 か月は何をどうやって仕事ができているのかほとんど覚えていませんが、なぜかフランクルの『夜と霧』のページを繰り、さらに何かを探るように『それでも人生にイエスと言う』を読んだのでした。

一精神病患者でも、病気そのものであるのではなく、まず、人間なのです。病気に「かかっている」ひとりの人間なのです。その人はどんなに重病でも、たとえ精神病でも本当に人間らしくなれます。たんに病気でも人間らしくなれるというだけではありません。病気に対してどんな態度をとるかで、人間らしくなれるのです。（『それでも人生にイエスと言う』より）

これこそが私が求め、かつ彼を職業人としてだけではなく、人間として存在たらしめる言葉だと思いました。彼は病気で死んでしまったかもしれませんが、うつ病は限りなく死にたい病気であるからです。でも同時に彼は本当に生きたかったです。勤続20年にわずかな足りない時期での死でしたが、その20年は障害者福祉に費やされたといっても過言ではありません。利用者さんを

愛し、その家族には絶大な信頼を得、その親しみのある人柄とどんな人でも受け入れる包容力で、障害者福祉を地域福祉という、もっと大きな視点で考えていくことのできる人だったと思います。まだまだこれからも利用者さんの生活を守り、家族と一緒に歩み、単に障害者福祉という狭い領域にとどまらず、地域福祉というもっと大きい観点から利用者さんを取り巻く日常を創造していきかけたのです。

3章の初めのほうに、『夜と霧』の読後感について、「どんなに苛酷で卑劣で残虐な状況においても、人間の精神的な自由を奪うことはできない、置かれた状況でどのようにふるまうかという人間の根本の自由は誰も犯すことができない」と書きましたが、フランクルは次のように述べています。

—最後の瞬間まで誰も奪うことのできない人間の精神的な自由は、彼が最後の息を引き取るまでその生を意味深いものとする。なぜなら、仕事に真価を發揮できる行動的な生や、安逸な生や、美や芸術をたっぷり味わう機会に恵まれた生だけに意味があるのではないからだ。そうではなく、強制収容所での生のような、仕事に真価を發揮する機

会も、体験に値すべきことを体験する機会も皆無の生の中にも意味はある。

—
—およそ生きることにそのものに意味があるとすれば、苦しむことにも意味があるはずだ。苦しむこともまた生きることの一部なら、運命も死ぬことも生きることの一部なのだろう。苦悩と、そして死があつてこそ、人間という存在は初めて完全なものになるのだ。—
(『夜と霧』より)

強制収容所における苛酷な拷問と労働の中でもフランクルは、自分と同じ被収容者に対して心理療法や精神衛生を試みていました。その中で、自殺願望を口にするようになっていた二人の男性に対して、生きることは彼らから何かを期待している、生きていれば、未来に彼らを待っている何かがあることを伝えることに成功しています。—事実、ひとりには、外国で父親の帰りを待つ、目に入れても痛くないほど愛している子供がいた。もうひとりを待っていたのは、人ではなく仕事だった。彼は研究者で、あるテーマの本を数巻上梓していたが、まだ完結していなかった。この仕事が彼を待ちわびて

いたのだ。彼はこの仕事にとって余人に代えがたい存在だった。先のひとりが子どもの愛にとってかけがえのないのと同じように、かれもまたかけがえがなかった。ひとりひとりの人間を特徴づけ、ひとつひとつの存在に意味を与える一回性と唯一性は、仕事や創造だけではなく、他の人やその愛にも言えるのだ。

このひとりひとりの人間にそなわっているかけがえのなさは、意識されたとたん、人間が生きていること、生き続けるということにたいして担っている責任の重さを、そっくりと、まざまざと気づかせる。自分を待っている仕事や愛する人間にたいする責任を自覚した人間は、生きることから降りられない。まさに、自分が「なぜ」存在するかを知っているので、ほとんどあらゆる「どのように」にも耐えられるのだ。(『夜と霧』より)

無期囚と、強制収容所の被収容者と、うつ病患者を同じように考えるのはかなり無理があることは承知しています。しかし、仕事に真価を発揮できる行動的な生でも、安逸な生でも、美や芸術をたっぷり味わう機会に恵まれた生でもないことは共通しています。苦しみ

の連続、苦悩の連続と言ってもよい生の中に、必ずその人ならではのかけがえのない生きる意味があるのです。

自死した私の先輩は志半ばだったか | 7
もしれません。病気のために判断力を奪われた晩年は自分のやりたいことの半分もできなかったかもしれません。それでもその仕事への情熱、利用者さんだけでない周囲の人への愛情は、彼を最後の最後まで生かしていたのです。そして、彼のとった利用者さんへの支援スタイルや、職員一人一人の個性や力量の限界はあることを逆手に取り、チームで支援していこうとする思想は今でも職員に受け継がれています。生命としては死を迎えても、そのスピリッツは生き続けているのです。

2章の汪さんの『獄中書簡集』前書きの中で、一『我的童年』を印刷しながら松永氏は「私も自分のことを書き、こうして読んでもらいたかった。」とボソツと言ったのを今でも覚えています。一という文章を引用させていただきましたが、汪さんは松永さんに生きていてほしかったのだと思います。無期懲役から模範生として四十数年ぶりに出所し、現実の社会に戸惑いながら、かえるプロジェクトの活動を通して今ま

での自分を見つめていた松永さんにただただ生きていてほしかったのだと思います。

同様に、貧困と虐待の中で育ち人を殺めてしまった永山則夫にたいして「彼を本当に死なせたくなかった」と涙を流す弁護士がおり、精神鑑定での彼を振り返りながら自分の天職と向き合い続ける精神科医がおり、「貧しいペルーの子供を支援したい」という彼の志を受け継ぐ形で支援団体がチャリティコンサートを継続しています。

このように、大切な人の存在は大切だと思う人々の心の中で生き続けているのです。

繰り返しますが、わたしはかえるプロジェクトの活動の中で一番好きなのは、会員さんが欲しい本のリストを見ながら本を探し出す時です。そこには〇〇したい、という生きる願望があふれているからです。見たい、食べたい、知りたい、やりたい、行きたい、働きたい、をささやかながら応援し続けたいと思います。

連載が終わりました。

LETTERS

会員番号 A208 F.T

| 8

冬至をすぎると朝が早く来ると思うと出所も早くなりそうな今日この頃。独り格子に切り取られた夜空を見て感傷にふけています。理由は4つ。まず①と②は22号の汪さんの本のレビュー★1つの人のコメントとNさんに対する返事のその1とその2です。賛否両論あるのは当然。しかし悲しいほんとうに悲しい心がないくらいに。個人の価値観に軸足を置いて正論をふりかざしすぎている。それはとっても怖いことだと思う。(中略)

①と②の件ですが、手元にかえるのうた21号がないので23号のおっ母とのやりとりと、その1、その2について書きます。まずおっ母は何故賛否両論の否だけを載せたのさ？Nさんこれじゃやるせないじゃん、ハ、きっと「俺のこと何も知らない奴が偉そうに」とか「無期の気持ち分かんのか？」ってなりかねないじゃん。その2人は有期か無期かは分かりませんが……。

私も9年ですが無期の方を推し量ることすら難しいと思います。こればかりはいくら相手の立場になって考えても、自分がそうなった時、正気でいられる自信がないからです。絶望に唯一克ちうるのは希望です。光です。小さかろうと遅かろうと光が見えれば人は必ず歩き続けられます。9年でも光は光なのです。残り2年半です。過ぎればなんとかです。

Nさんの心の話は私もうなずけます。例え囚われていようとも心も思考も自由です。少し脱線します。「阿Q正伝」10回読み、私なりの結論を導き出しました。阿Q正伝は研究書も出ているくらいの本みたいです。私なんか偉そうに語れるものではないのですが。阿Qは自分の心を守っていたのでしょう。本人にその気がなくても精神はみな似たものでしょう。精神勝利法。自分の心が傷つかないように、時に毒づき、時に言い訳して、心と会話する事。みなあると思います。ひとり言もその1つ。心を守るセーフティネットですね。心は常に「勝ち〜」って思っていれば良い訳です。

Nさんはカタギへの道へ？それとも任侠の道へ？任侠であれば今のままで良いでしょう。ただ今は甘くないですよ。社会より厳しいです。夢物語では生きていけませんよう。頭がキレて清濁併せのむくらいクールでないと使い捨てですよ。無期という特殊な状況下であれば昨日と今日で考え方が変わっても仕方ないでしょう。「どうせ出れねえ」が最悪の原因なのですが、それが信念や矜持と言った思考と結びつくとなかなか強固になってしまいます。

人間煮詰めれば自己承認欲求・自己顕示欲求・自己満足のために行動しています。「出れない」中で何が大切になっていくか……。仲の良い同囚との夢物語。たぶん兄弟分とかもいるでしょう。そういう大切な存在が外ではなく中にいる上、「どうせ出れない」と信念、矜持がカチカチになってしまう事です。中で男を見せる必要があるのは自分の周りの大切な気心しれた“絆”で結ばれた人でしょう？守りたいのもそれでしょう。

この方もきっと分かっていますよ。ただ「どうせ出れない」にループする

と身近な大切な者がどうしようもなく愛しくなるのでしょうか。私も7年も懲役を見ていると口だけの人の多い事！自分であれこれすると言うひとに限って何もしません(笑)。私は頼みませんが…するのは3%です。ただこのNさんがカタギでと言うなら…出れた時にもう一度「大切な者、大切なものを」見直してみたいです。

外から中の同囚を支援する気になれば必ず出来ます。ちゃんと正業を見つけて、ちゃんと手紙書いて、一生懸命働いて独立していつでも帰っておいでという環境を作るのが男でしょう。

社会では男は家族を養い守る事と仕事。この2つを極めていく中で自然と大切なもの、大切な者、もしかしたら愛する者も見つかるかもしれません▽だから自分の大切なもの、大切な考えや信念を変えたくないのなら、自分が変わらしましょう!!他人と過去は変えられないけれど、自分と未来は変えられます。「信は力なり」です。自分次第です。私が伝えたいのはこういう事です。決して見下さず、さげすまず、バカにせず、相手を受け入れ共感し、

否定せず、ほんの少し…ほんの少し見る視点、目先を変えて見れば違う景色も見えますよ～って事。

賢しげに教えてやってる感は他人事ながら心が痛みます。私は自分で言うのもおこがましいですが、空気に敏感で、人の気持ちを察するのも早く、人がいいのか刑務所では人間関係においては苦勞ばかりです。イジメられることはありませんが、我が強く周りを同調圧力にして人を屈服させる所をみる度に本当嫌になります。何がって助けられない自分が一番イヤです。同罪です。別に仮釈を目指している訳ではありませんが、面倒臭いのが本当に嫌なのです。こうすればこうなるとすぐ分かるだけに腰も重くなります。情けないです。自分の身は自分で守って下さいと願うばかりです…。(謝)

私は刑務所で気をつけている事があります。社会での日常の感覚で過ごすという事です。とても難しいですよ。人のイヤな所、ダメな所はとかく目につきやすいです。それを言うのは簡単です。すぐ見下し、バカにして、自分のルールで注意し、レッテルを貼り付

けてきます。[ダメ]のらく印をペタッと(苦笑)きつと外なら相手にもしないでらうと思います。私がするのはそっとフォローして、手を貸し、なぐさめるくらいです。本当に力不足で申し訳ないと思いつつ…。本音はさ～「あんた偉そうにいつも説教たれてるけど、何なの?そんな立派なの?えっ?」って感じです。こういう中で生活するのに疲れました。

汪さんの本のレビュー★1つは論外です。何ですかね、あの胸クソ悪いレビューは。悪意以外の何ものでもない。社会って怖いね…イヤだ、イヤだ。ネット被害の1つですね。私的には阿Q正伝をもじって、サブタイトルに「汪楠正伝」と入れて欲しかったな～(笑)でも本の内容って全てが汪さんの希望に沿うわけもなく商売的になるのは当然であって、印税も権利だ。

タイトルが被害者への反省文だったら買いますか?って話だよ!これは俺の自論だけど、償いと謝罪とかっていうのは、大切だよ。でも何よりも、まず自分が社会に根を張り、生活出来るようにして、生きる事が第一。後ろ

ばかり見ている何も始まらないと思う。やった事は消えないけど、一生それに振り回される必要もないと思う。新しく生きなおしたっていいと俺は信じている。

Nさんの件のラストは本人がこの世を去る時「幸せだった」と思える人生ならだれがなんと言おうとそれは素敵な人生です。男で生きるってのは云うほど簡単な事じゃない無期でそれを通すと言うなら、とことん通しぬいて欲しい。でもね、やっぱり出て欲しいよ、社会へ!

次に理由③今、調査中なのです。一舎という所で独りでいます。正直疲れたのです。この半年無理しすぎたみたいです。ただただ疲れちゃった。その1、その2みたいな人たちに。ボクの願いは静かに暮らしたいの。ただそれだけ。だから罰終わっても雑居なら出ないかも…。そしたらまた罰だけどね…。もう満期で良いと思ひ定めてるのでグラつきません(笑)

編集中記(事務局長)

F.Tさんの手紙を読んで、とても考えさせられた。それもあって掲載させて

いただきました。この人とも面識がありません。なのに分かり合える感がある。

例えばいじめ問題に対しての自省の念を持つところとか。そうです。私もそう思います。見て見ぬふりは一番よくないと思います。そこでいじめを助長してしまう土壌を作ってしまう。

「弱気を助け、強きを挫く」という言葉があります。でも現実社会の中ではそれを実行するのは難しい。とくに刑務所の中ではパワーバランスがあって、集団生活である以上は気遣いというか、忖度に気配りに明け暮れる毎日といっても過言ではない。その中でいじめは日常茶飯事で、言葉にできない実態が存在するのです。そして立派な言葉を使う人間ほど、その正体は心狭き貪欲な輩であることが多い。

想像するに、(良い意味で)水戸刑務所 FT さんは決して模範囚ではないだろう。日本の刑務所での模範囚とは刑務官のイヌになり、密告することで己の地位を確保し、ヤクザのポッチになって便宜を図る方を指す。

水戸刑務所 FT さん、正義心はわかったから早く出てきてください。あなたの言葉の通り、出て生きることです。

LETTERS

会員番号 A141 I.Y

私も N さん同様 “無期囚、である。私は 23 号の反響を読み正直あ然としました。それは何一つとして理解も真実も知らない輩(やから)が勝手に『決め付け』に基いての発言をしていることです。彼らは一体何んであの様なことを言うのでしょうか？私は少なくとも彼らの話しに対して「愛」を感じることはありませんでした。私が感じたのは「自分の考え方に “酔っている、正義中毒” からの話しとしかおもえませんでした。どう感じようともそこに私は口をささむつもりは一切ありません。

しかし何も知らない輩があたかも全てを知っているかの如く平然と誰かを “非難、することにはものすご〜く強い “嫌悪感、や “抵抗感、を感じます。私は非難をする以上その人はそれなりの “覚悟、をする必要がありその覚悟もなく “匿名、性をいいことに好き勝手に言うのは違うとおもいます。(社会の SNS でのことと一緒に)正直言って “憤り、をおぼえ大変 “遺憾、に感じました。やはり少〜しでも自分の言動に責任を持って欲しい (他人 (ヒト) へ対してのこと) とおもいます。(文字だ

けでは伝わらない&曲解を与えることも多々あり N さんの本当の心は判らない) それに人の心ってそんなに単純ではなくその時×2で変化しゆれ動くもの! そうしたこともしっかり心にとめて考える位の余裕がないと相手には絶対に伝わらないと私はおもっています。それに「愛」も当然必要な要素です!

編集中記 (事務局長)

お手紙ありがとうございます。

誤解があったようで説明させていただきます。匿名としたのは「かえるのうた」は不特定多数の方に発行する会報であり、慣例として一律匿名としました。

またこのように反論ないしその後の反響を掲載するのは、あくまでも皆様に考えてほしいだけのことで、決して N さんやほかの皆さんを否定肯定するものではない。

ここではどう生きるべきか? どう生きてきて、これからはどう生きたいのかを共に考えていきたい。そしてかえるの皆さんはその皆さんに寄り添っていきただけです。それが私たちの活動趣旨であり、「愛」でもあるのです。

無期懲役囚を少しでも理解していたくために、次のO.Sさんの作品を掲載します。彼とは同じ岐阜刑務所を務め、何回も同じ工場に配役し、同じ舎房にもなったことがありました。囲碁の達人で刑務所相手の国賠訴訟にも自力で勝つほどの頭脳を持つ方で凄んな彼が病母を案じ、そばで看病もできないもどかしさに苛まれながら、一部の刑務官や心無い受刑者仲間の理不尽な仕打ちに苦しむ中の一句一句。そこから少しでも無期囚の苦しむ心中を想像できればと思います。



会員番号 A059 O.S

実母 (カツ子 平成 21.6.19 逝去 87 歳。)に発信の際に記載した俳句、短歌。

夢まくら 母の笑顔に ほほぬらす
(昭和 63.7.31 面会の礼と暑中見舞い。)

初夢に 我が子と戯れ さびしさよ
(昭和 63.1.1 年賀はがき、竜の画、別れた時の子、6 歳と 4 歳。)

母想う 我が息苦よりも 子を想う
母の心痛 我に勝りて

(昭和 64.1.1 年賀はがき、蛇の
画、親不孝、懺悔。)

「衝 撃」

会員番号 A059 O.S

夏休みのある日 私たちの前から 忽然
と 母の姿が消えた

過し日の 思い出深し 虫の音

(平成元.9.10 面会の礼と 小学
生のころの実母と私の過去を思う。)

ある日の朝 母の姿が 見あたらない
何時もなら 食事の支度の 母の姿が見
えるのに
今朝は 母の姿が 見あたらない

かえりみて 心にのこる 友の顔

(平成 2.1.1 年賀はがき、中学の時
友と家出して大阪の実母に会う。)

お昼になっても 夜になっても
母は現われない
長い 長い 一日
この日を境に 母は とうとう帰って
こない

初春の 喜びこめて 書きぞめの

鶴は千年 亀は万年

(平成 3.1.1 年賀はがき、実母の長
寿を願う 羊の画。)

私たちの前から 母は 消えてしまった
母は 忽然と 消えてしまったのである

「せいちゃん とうさんは。」
「いない かあちゃんも いない。」

人の世の とおりし道の はかなさよ

長くみえども 短かき命

(平成 4.1.1 年賀はがき 猿の画
人生のはかなさを後悔。)

「とうさん どこに いったの。」
「しんない かあちゃんも どっ
か いったの。」

夢にたち はげます 老母(はは)
の笑顔(ほほえみ) すまぬすまぬと
なみだとまらず

(平成 6.1.1 年賀はがき 犬の画
実母は犬年 懺悔。)

「ごはん たべたの。」
「ウ ウーン たべて ない。」
「おじさんちに おいで。」
「……………」
「おじさんちで ごはん たべなさ
い。」 「ウン。」

「せいじ。かあさんは。」
「しんない。」

「どこにいったのか。」
 「しんない。」
 「いつから いない。」
 「あさから いないの。」
 「バカものが ごはんたべたのか。」
 「やまおかの おっちゃんちで
 たべたの。」 「そうか。」

当時、私は9歳、早生れなので、小学4年生でした。

私の下に、長女、照子（7歳、小学1年）、次女 美代子（3歳）、

三女 加代子（1歳）と、4人兄妹でした。

今から、72年も昔の夏休みのある日の出来事ですが、私は、この日の長い長い一日を忘れようにも、忘れない、大きな衝撃を受けました。

その上、翌日、父は、私達が初めて会う、女の人を連れてきて

「今日からお前たちの母さんになる女（ひと）だ よく言うことを聞いて可愛がってもらいなさい。」と、いきなり紹介されました。

私の小さな胸中に、大きな空洞ができ、この女の人が、母を追いつけたと、憎み、恨みが募り、特に悪性の女性ではないのに、事あるごとに反抗するようになっていきました。

父・私は 父との生活の記憶がない

私の幼年期に 父が そばいた記憶がない
 父に抱いてもらった

父に オモチャ 買って もらった
 父に 遊んで もらった
 父に どこかに 連れて行って もらった

私の脳裏に 記憶がない

私の脳裏の 父は

母が忽然と 姿を消した 日から
 父との出会いで あり

父との生活が 始まったのである

この日以前 過去の 父のことは

私は 思い出せない

なぜか 思い出すことが できないのである

昭和15年 私は 大阪市浪速区元町で誕生。昭和16年 日本は真珠湾を攻撃、太平洋戦争に突入。

昭和17年 妹 照子が誕生、

この時 父は兵役でいなかった。

母は私と乳飲み子をかかえて生活ができないので、郷里の愛媛県に疎開。

昭和19年 父は胸の病で除隊。

母は 愛媛県から父の郷里 岡山市弓之町に疎開。

昭和20年終戦。父は除隊のため療養所にいたが、終戦により退院し、岡山市下石井柳町で、O硝子鏡面取加工所を設立。

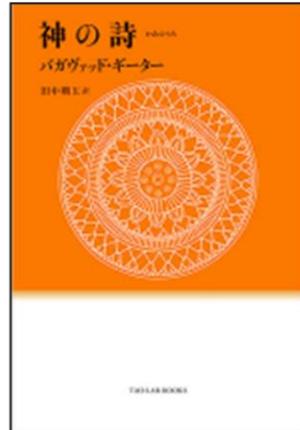
（次号に続く）

【本のプレゼント】 TAO Lab BOOKS さまより

出版社さんのご好意でご希望の方には次の本をプレゼントできることになりました。ご希望の方はほしい本のタイトルを手紙に書いて応募してください。

| 16

応募多数の場合は抽選になります。応募締め切り：6月30日



1. WALKACROSS ホーリーアウトロー②

アーサー・ホーランド/言葉 河合豊彦/写真

型破りな牧師アーサーは、アメリカ人の父と日本人の母のもと、大阪西成で生まれる。師が、独自の活動として重さ数十キロもの十字架を担ぎ、歩き、祈る三カ国の旅の記録。共に歩き、風景ごと鮮烈に切り取った河合豊彦の写真により構成。

2. 神の詩 バガヴァッド・ギーター 訳：田中爛玉

「神の詩」という意味である「バガヴァッド・ギーター」は、インド古典中もっとも有名で、ヒンドゥー教が世界に誇る珠玉の聖典であり、聖書に次いで世界で2番目の発行部数を持つ書物だともいわれています。大戦争の戦場というもっとも過酷な状況を舞台に、尊主クリシュナがアルジェナに語る永遠の真理が書かれています。**Amazon レビュー**：田中爛玉さんは、まさにインド神秘主義の魂に触れた人ならではの翻訳をしている。この人の言葉の感覚は素晴らしい。

世間の目

ほんにかえるプロジェクトは毎日のように受刑者からお手紙をいただくのですが、コロナについての言及も多く、ストレスの高さを感じます。

今回はネットニュースで刑務所でもクラスターが発生した記事を見て、そこに寄せられたコメントを載せ、皆さんに考えていただきたいと思います。

刑務所で相次ぐクラスター、受刑者の感染対策とは？

○変異株の感染力の高さの危険性がよく分かるニュースだと思います。

新型コロナウイルスの危険性は、刑務所、病院、介護施設共に似たようなものだと思います。

○外出は出来ないから、職員や新たに入所する人が持ち込むしか原因が考えられない。

○隔離された場所で、クラスター発生するのは意外

○刑務官が風俗行くからだろ。

○新しい人が来るからねー

○官が外から持ってくるんだよ 逮捕勾留された時点で自由はないからな

○ウィルスは運ばれて来ますからね。

○雑居房があるからだろ。

○受刑者、憧れの職業の一つだが、他人に迷惑をかけるのは嫌なのでその線は除外している。

○受刑者、喋ったりしないのに意外だな

○刑務所でも、コロナ対策を行っているのですね

自分の職場でも同じように、出勤前の体温測定 手指のアルコール消毒 マスク着用 休憩時に大声出での会話
X 黙食を必ず守って食事する(ポスタ

一での注意喚起を含む)→テーブルにパーテーションを設置し、会話する時はマスク着用！SOCIALDISTANCEの確保を心がけています

○刑務官も大変

○追伸です、今の刑務所は、高齢化が進んで受刑者が入所者に介護をしているのが現状みたいです。後紙オムツも、私達が集めた税金から賄われているそうです。

○刑務所みたいな閉鎖空間で感染すると言う事は「外部から菌を持ち込む要素」があると言う事。

○雑居房があるからいけない、これを皮切りに全国の刑務所は独居にした方がいいですね。工場に降りるのでは無く独居房で作業させるべきこれを直ちに法改善するべき。

○2年以上前から服役している受刑者が出所したら、世間にびっくりするやろな

○雑居でソーシャルはさすがに草

○反省もしないで開き直ってる極悪犯はそのまま治療しなくていいかと

○病院も刑務所も死ぬまで絶対に関わりたくないわ。

○受刑者は後回しでいい こんな奴らに治療は必要ない

○一番社会との距離(ソーシャルディスタンス)取れてそうなのに…

○看守がコロナ持ち込んで受刑者が感染パターン

○看守の感染対策に問題がある!!

○刑期中のみなさん！今、世界は大変な事になっていますよー、(・∀・)
ノ

○受刑者への拷問が容易に行えるw

○受刑者へのケアも必要だな

○仕事に困らなくて済んで食べていくにも困らなくて済みますね、出所しても、刑務所の外でやっていけなくて、わざわざ窃盗か何かして刑務所へ出戻

りする人がいるくらいですからね、仕事がなくてお金も無くて雨風しのげる場所がなくなったら、刑務所なら困らないかも。

○受刑者がコロナ感染して亡くなったら遺族が居れば中には遺族が裁判起こす人も居そうだな。

○私は、以前 TBS の事件とか矯正施設の番組を放送で見ましたが、刑務官も受刑者を扱っても大変でしたね。又、特に、今回の、コロナ感染が、怖いから受刑者に、マスクを配りましたが、そのマスクも、国民から毎年集めた税金から賄われているそうですね。又、衣食住まで色々みたいです。あと受刑者が、中で水とか使いすぎると、受刑者に、しわ寄せが来るみたいです。又私の知り合いに施設に入った人がいます。が何でも毎年水道代は1億円以上掛かるみたいです。後聞いた話ですが毎年お正月と、5月の連休と、お盆休みには、特食と言って受刑者に食べ物配るみたいです。又毎日仕事の日当は微々たるものみたいとゆう話です。私は、この話を聞いて事件を犯したくないです。でわこの辺で失礼致します。

ああちゃんより。

○A 級(反社以外の初犯)がいなくて B 級(再犯・累犯・反社)が主の府中でこの待遇かよ。

初犯の交通犯罪(あおり運転とか飲酒運転とかの悪質なやつは除く)や

正当防衛が認められず過剰防衛とかならギリ許せるレベルだぞ。

○犯罪者なんか知ったこっちゃない!人に迷惑をかけ税金で生き延びてんだから呆れる!出てくん!

○アクリル板より電話のほうがめっちゃいい

○もしかして、国や都道府県の言うことを高確率で守っているのが刑務所なのか?????なんか笑えてくるぞ

ははは💧

○コロナの時代で、受刑者だって不安でしょうね。仕事中にはフェイスシールドを使ったり、食事はソーシャルディスタンスでしょう。

○労働も更正も兼ねて、清掃業を徹底させろよ。

○横刑職員の感染への意識の低さはお笑いレベル。脳筋高卒公務員の集まりなんで

○移送してる時に感染してるかもしれないわけか特に新幹線移送とか。

○刑務所もそうだろうが拘置所も大概危険

○懐かしいな～

○受刑者は感染しても良い。損はない

○俺より健康的な生活だな

○刑務官の手指消毒液の使い方が悪い手順が✖

○この状態の刑務所のがコミュ障の懲役には快適そう!

○人数と部屋の関係で雑居せざるを得ないから一気に広がっちゃうわけかなるほど.....まあ独房はっかな施設はないもんな....

○生活保護コレで良いやん。

○怖そう。食事美味しくなさそう

○受刑者から突っ込まれるな...。感染源が看守とは...

○酒が原因なのに刑務所でそんなに感染者が増えるのか。へ～

○まあ外から職員なんか持ち込んでくるしかないよな、

○逆の見方すればこんなに捕まってる人いるんだ

○刑務所でクラスターって事は当たり前だが感染源は刑務官って話だわな。つかオウムのニュースかと思った。

○人命と医療関係者優先。オリンピック反対派です。

○うちの近くの刑務所もクラスター

が発生したからな。

○刑務所でコロナ患者が出るって事は間違いなく刑務官が外から持ち込んだって事でしょ。

つーかコロナで緊急事態宣言出てるんだから受刑者も工場勤務を一時期間無しにしまよ

○受刑者は感染しても良い

○2016年に府中刑務所に入社しました。

給料は、いいですが思っている以上にストレスがたまります。

仕事は、大変ですがいろいろ学べるので刑務官になってよかったです。

○もう時期、このまま行くと世界が日本が共産社会になり監視され結局は個人の自由を奪われて娑婆も刑務所も変わらなくなり世界丸々が刑務所になるかも知れないな…

○こいつら出たら再犯繰り返すからここまでする必要あるの？コロナ対応で職員の負担増えるなら、国立感染症研究所にモルモットとして払い下げて、新薬とかの人体実験として使った方がいい。

○でも感染者はだいぶ減ってきましたね！

○どうやって刑務所の中にコロナウイルスかかったの？みんなにlockdownをしてるじゃないですか

○精神病院より、ごつつう、ええなあ。??刑務所…!!グラウンドも、あるし…

○ここまで来るとコロナネタもいとこだな(呆れ)

メディアよ、もう諦めろ、コレからどんどんコロナ詐欺だとバレていく

○刑務官の試験受験するけど難しい？警察官とどっちがなりやすい？

○そのまま遺族に侘びて逝ちまえ

○府中はマンモスだから大変だろうなコロナ！ビックリ箱特に念入り消毒しないと

○府中刑務所去年居たけど懐かしいな

○今刑務官こんな着てんのか、大変やな。

○受刑者は感染しても問題ないから。

○職員のケアはしてあげてな

○罪を犯した人間がクラスターになろうが、●のうが別になんとも思わないね。人に危害を加えて刑務所に居るんだから、冷酷で見るのはごく普通のこと

○色々なところでクラスター発生も死者数は大して変わらず。

騒ぎ続ける意図はなんだろう？

○壁に新聞あるの草

○つくづく報道関係者もヒマだなあ。感染のこと気にする余裕あるなら、まず自分の犯した罪を省みることを全力で唱えるべきなのでは？

○コメント欄かなりの恐怖

○刑務官の人数が多いな

刑務所も税金の無駄が多そうだ

○人間扱いされないんだろうな・・・

○2006年府中刑務所では受刑者の2割が外国人。特別永住者は含まず。

○刑務所でもコロナクラスターが出るのですね！刑務官自身がそう一般人に比べて繁華街での接触が少ないはず、とんでもないウイルスですね！

○犯罪者の巣窟がコロナの巣窟に成ってしまったのか

汚物は消毒だな

○ほとんど意味ない対策ですね

○懐かしいな

○むしろ様々な実験に使ってくれて良いよ。

○精神病院の、隔離室が、唯一、似ている..!!

○コロナに感染しても受刑者だからなあ。うーんなんとも言えない

○まさにバイオハザード

○受刑者は感染すれば良い

○現役受刑者だけど、慰問とかなく
かっている。そしてこの映像はあくまで
撮影用

実際は3密×3密×3密

○布団って、赤色もあるんだね。知
らなかった。😄 全国の施設鑑別所含
め、おにぎりせんべいカラーかと思っ
てた。

○受刑者は感染して

○てか刑務所でクラスター起こって
るのは刑務官のせいやろ

○「フェースガード」じゃなくて「フ
ェイスガード」でしょ。

しっかりしろよ。TBS

○最近の拡大している格差社会や醜
い富裕層や容赦ない雇用形態、困窮者
にろくに目を向けない冷たい一般人を
考えると、ここはある種の社会的困窮
者、困窮高齢者にとってのセーフティ
ーネットにすら思えてきます。

衣食住の心配はなく、下手なネット
カフェよりよっぽど清潔そうだし、感
染対策もできる範囲で考えてくれてい
るとは、海外の刑務所ではありえない
のでは。

色々と尊厳を傷つけられることはあ
るかも知れないけど、世間での生活が
苦しいからと、ただ死ぬのはもったい
ない、という気になってもおかしくな
いかも。

他人を傷つける犯罪はもっての外で
す。

○受刑者ってマスクつけていいんだ
…

ゴム製のヒモなのに特例なのかな

○この時期に3食飯が食えるだけ
でもありがたいよ

○ワクチン、年寄りの次は刑務所優
先じゃねーだろうな？

○刑務所でクラスターになるんか？
ウイルスを誰が持ち込んだんだよ。

○いい御身分なこと

○有る意味？集団免疫獲得(´Д`
|||)

○2:04 日本료칸이여~ 교도소여~

○布団のことなんやけど…綺麗すぎ
…あれは痔治療やな

○Facebookによる感染拡大

○全部逮捕しろ！

○刑務所って3食出てその上、おや
つもついてくるらしいじゃん！毎回か
は知らんけど。そんなの必要ないのに
ね。

死んじゃった被害者はご飯どころか
お茶の1杯でももう飲めないのに、な
んで犯罪者がきちんとご飯食べられる
のか…1日1食で構わないのにさ。

○はじめて。寒気がする。同じ人間
なのに。人間教育しっかりとしよう！

○嘘くさっw どこも安全なところ
はないって刷り込みたいんだらうねw

○別に刑務所に感染してもいいやろ
てかしろ広まるのは許さん

○僕も思うんだけど前花清と言う男
だけどこいつが行く場は刑務所だね！
今度こいつに対して会う事は無いが！
もしされたらこんな場所へ前花清を刑
務所に入れて一生無期懲役で苦しむ生
活で良いと俺は思う今で言うと言う
う感じです

○カレーの美味しい刑務所ってテレ
ビで言ってた、本当かな😞

○ウイルスに関しては逃げ場のない
受刑者にちょっと同情する

○刑務官は死ぬほど激務だから免疫
力は弱そう

○刑務官経由？

○それも刑のうち

○监狱里的肉丸子 比我日常吃的都
好……

○ステイムショでなぜクラスター
に？

研究の価値は都会よりもありそう。

○医療ガウン作ってくれてありがとう。助かるよ

○モザイクかけなくていい。

○ポイ捨て野郎も捕まれ

○一人で喋るのに拡声器で喋って、その拡声器を他の人が触ったら意味ねーじゃん

○不謹慎カモ知れんケンド、受刑者(特に故意に殺人犯したヤツら)にも人権ナンてアンのか……?!!! (コンなご時世ダカラ、場合に寄っては我々自分達も魔が刺してイズレ?こう言う連中の様な立場に成らざる負えん日が来るカモ知れんケド……?!)

(ToT)

○独居房かい、感染者は?

○もー最高や!!!

○コメント欄元犯罪者の巣窟で草

○受刑者が感染、、、で???

○刑務所なら別にクラスターが起きてもいいよ

囚人は放置で刑務官は休みにすればいい

○刑務官が持ち込んだじゃうんだな

○美味しそう😋\(-_-)

○火の鳥ジャパン、茨城県のいち町長が、高齢者用ワクチンを高齢者でもないに! ワクチンを先に接種した理由が、医療従事者と同じだから、そうゆう事なら、接種会場で、

○仕入れなどが1番に考える

食材などは完璧に検査をしてない

食材をカットして冷凍してる食材の菌は冷凍されています 使う時は解凍してから使うその前に職員が食材を出してるから二次三次感染が止まらない

そこまで頭が悪のかよ

○暮らす多~死てたら

クラスター発生するのは

当たり前~、当たり前~、

当たり前多逝喪~♪

○てか感染させてるの刑務官じゃないの?

○刑務官はC19Virusを持って来た使い魔だったんですかね? 刑務所も刑務官も閉鎖空間であり、刑務所の外と触れる事が可能なのは刑務官だけなので、憑依された刑務官は多いですね。

○中国アイスにコロナ隔離。中国産輸入品の食材。ワクチンの実験台は精神障害や高齢者。デンマークの対応とアストラゼネカに追加ワクチン対応の日本。オリンピック強行しますね。その後日本人の血筋は犠牲になる。

○ずいぶんいい生活してるんだな、受刑者って。

○犯罪者には人権なんかねーよ。生意気に感染対策するな

○受刑者に、そんなもん要らん

集団感染して苦しみ

○受刑者はそのままでもいいよ

金の無駄

○全員処刑でよろしい

○へずまりゅう最強

○余談ですが、刑務所の、新聞閲覧は一人15分らしいです。又、入浴時間も一人15分だそうです。

○.....だめだこりゃ

○刑務所いいなあ

○訂正です扱いですね。

○受刑者はパンパンになるまで満員状態で檻に閉じ込めてマスクもさせずに感染させたらいいよ。刑務官だけ感染予防したらいい。

○便器むき出しは草

○こいつらで人体実験しようや!

○あっ、でも刑務官誰か一人がコロナ持ち込まないと感染させられないか。受刑者に向かってマスクなしで叫んでコロナを移してやればいい。そうすれば解決

○罪人なんかに治療するなよ

○いや、簡単だろ。
 外からの持ち込み止めるだけ。
 ○至れり尽くせり刑務所ホテル
 ○邪魔くせえから、上朝鮮に委託すればよいw
 ○刑務官が会食してるんじゃないですか？
 ○オヤジの格好がバイオハザード
 ○NHK 払ってるのかな？国民に払えと言うんだからお前らも払え 😡
 ○受刑者みたいな悪党はどうでも良いわ
 なんなら感染したなら新薬の治験でもさしとけば良い
 ○飯美味そうやな
 ○全員処刑。
 ○こいつらに飯とかいらんくね？税金の無駄遣い。なんのために汗水たらして働いてると思ってんの？こいつらのためじなやねーよ
 ○養豚場みたい
 ○そんなやつはコロナに感染してもろくに治療せずにとっとと死なせるべき
 犯罪者にこの世にいる資格などない
 ○受刑者はどんどん感染しろ！人権ないだろ
 ○対策が必要なのは受刑者ではないよね？
 ○声が小さい
 ○田代まさしさんも居るのかな？
 ○豚や鳥のように処分すれば良いと思う
 ○もうコロナ感染の受刑者は隔離して見捨てね？
 ○田代まさしが服役してますかね？
 ○オヤジ連中が持ち込んでるんでしょ!?
 ○バイオハザード
 ○コロナウィルス感染症はもうとっくに終息したというのに、いつまでこんな風に無駄金を投入しているのか。

感染症2類指定を外さない限りお役所仕事ってことでしょけど、税金使ってるんだよ。

ホントに無駄無駄無駄〜！

刑務官さん達も受刑者達もご苦労さん。

○コロナになった囚人はそのまま火葬場に送ればいいさ

○音ちっちゃ

○オヤジ茶ください！

○はっきり言って受刑者は逝った方が節税になる。優先してワクチン打ってやれば？

○そういや、こいつらに最初ワクチンやって試せばよかったのに。

○かつてワルだったりヤンキーだったりしてカッコいいな受刑者って。

○ビューだよビューだよ

○桂銀淑

○コロナでクタバレ

○ルルルルルル

○虐め加害者、少年に、児童相談所止まりは、甘いと思う。大人の刑罰を償って欲しいです。年寄りも、特別出所させて、保護福祉観察所で、残りの人生を送って下さい。若い、加害者少年には、懲役を長くして下さい。再犯を犯す可能性があります。一向に、コロナ犯罪、自殺は、減らないと思う。

○もうあれだよ受刑者全員釈放すれば解決するよ

○囚人様はシャバよりも良い暮らしだな！

○？

○よって受刑者をコロナウィルス感染の刑に処す、尚減刑は認めない。

○刑務官は対策必要だが受刑者なんていないだろ。老人ホームになってるんだから死んだほうが税金の無駄遣い減る。大いに雇ってほしい。

○囚人やからええやろ。

○さすがにこれは仕方がない。犯罪

を犯していない普通の人と同じ待遇を望むこと自体が間違いなんだから。

犯罪を犯さなければここには入っていないんだから。職員の方が気の毒。

四人入ってるなら、2人死刑にするのはどう？ 国の力で

○刑務所でクラスターが起きてる事を何故他のメディアはもっと報じない？

警察が隠蔽してただろ、自分達に都合の悪い事は報じせない卑怯な奴らだ
刑務所や留置場内の新聞では、警察の不祥事の記事は切り取られてるらしいからな

○治療なんぞ必要ない、勝手に死なせとけ

○天皇と総理大臣も中にぶち込め！！

コメントは以上です。どう思いますか？ちなみに税金ドロボーというのは誤解です。菊田幸一先生の本で「日本の刑務所」(岩波新書)というのがありますが、その中では受刑者が働き、そこで得た利益を国庫に納め、それと同額の予算しか下りないと書いてありました。つまり刑務所は自給自足。あえて言えば矯正協会が搾取しなければ予算はもっとあるはずです。

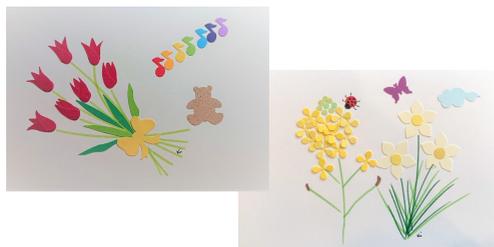
まあ読んでわかるとは思いますが、要は犯罪者は死ぬのひと言ですね。更生を支援するものとしては社会にもっと寛容になってほしいものです。しかしわたし汪楠個人は受刑者に同情する気になれない。受刑経験のある私は同じ受刑者の多くは右翼よりであることを知っている。死刑制度も賛成する受刑者が多く、外国人は日本から出て行け

と叫ぶのも多い。いまはウクライナ情勢でロシアを一方向的に批判していることも想像できる。まあ肌感覚で受刑者のリベラル派は5%も満たない感じですよ。

この悪意に満ちたコメントを読んで、受刑者の皆さんがどう思うかを知りたい。そしてこのようなコメントを通じて、自分自身の当然と思い込んでいる言動が他人を傷つけていることを理解してほしい。

私たちは寛容な社会を目指しています。だからこそ被害者だけではなく、加害者側も支援が必要と社会に訴え、実践しています。

繰り返しますが、ほんにかえるプロジェクトは公的資金を全くもらわず、補助金も受けていない状態で運営してきたボランティア団体です。運営資金は主にスタッフとそのお知り合いの寄付に頼るのが現状です。スタッフも全員が無報酬でやったださる方です。どうかご理解の上、ご利用ください。なお、3月の無償本発送、無償本リストの作成は、事務所の電気代滞納で停電したため、中止になりました。そのため、**今回無償本リストは同封できません**。4月の無償本発送も順延となります。リストはでき次第送ります。どうかご了承ください。 事務局長 汪楠



誕生カードをお贈りしました

誕生カード 担当 M.ロザリア綾

「主なる神が何を語られるかを聞こう」(詩編 85 章 9 節)

皆様、お元気でいらっしゃいますか？ この冬は寒さが厳しく、雪も多くて大変だったと思いますが、あたたかくなり始めたらアツという間に春です。

時々、誕生カードについてお礼のお手紙をいただきます。ありがとうございます！事務局から連絡をいただき、できるだけカードの書き手、作り手に内容をお伝えしています(^) 返事が来ると嬉しいですね。

季節の変わり目、お体に気を付けてお過ごしくださいますように！写真は3月、4月の誕生日の皆さんにお贈りするカードです。 M.ロザリア綾

ほんにかえるプロジェクトは外部会員を募集しています。正会員の年会費は3000円。寄付もお待ちしています。

振込先

ゆうちょ銀行 10160-86239211

他行からの場合

ゆうちょ銀行〇一八支店

(普) 8623921

口座名義は

ほんにかえるプロジェクト

ほんにかえるプロジェクトはボランティアスタッフを募集しています。在宅のままでできるパソコン入力と文通スタッフが特に不足しています。自宅の住所を公開する必要もありません。プライバシー保護に細心の注意を払っております。

プロジェクトの活動資金の捻出の一環として小冊子を販売しています。第1冊目は汪が書いた「私の生き立ち」(A5 サイズ 88頁)、2冊目は「獄中書簡」各500円で販売し、その収益は全額支援活動に充てます。好評につき、手作業で増刷中です。

また彩図社より出版「怒羅権と私」は5万冊も売れたようです。一部の刑務所では検閲により閲読できないようで、購入の際はご注意ください。

2冊目も書きあがり編集途中です。乞うご期待。